|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(41)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | |
| 2024年10月12日　週間祈りカード | | | |
| △産業宣教  産業人重職者の時代的ターニングポイント(使11:19) | △RTとTCK伝道学  時代のターニングポイントを見る目(使11:19) | | △核心  時代のターニングポイントを見る絶対やぐらの道しるべ(使11:19) |
| □序論  1.異端汚名(法) -迫害　イスラエルが福音を持っている人に異端の汚名を着せて法を作って迫害した。  2.使11:1-18紛争　福音を受けた教会も、ほとんど福音を味わえなければ、福音と反対になることを話して紛争する。  3.使11:19-30弱さ　このとき、ごく少数の重職者産業人が集まった所がアンティオキア教会だ。外では迫害が起こり、中では紛争が起こり、弱いことが問題だ。  ※ところで、ごく少数の人が本当に契約を持っていた。  三位一体(御座)やぐら、旅程、道しるべ  三位一体の神様の力は、御座から出る力だ。このやぐらを持って旅程を行って、道しるべを建てる重要な人々が集まったのだ。  □本論  福音を持っている少数の重職者、産業人が悟って集まって建てた教会がアンティオキア教会だ。神様は御座の力で旅程を行って、道しるべを建てることを約束された。  1.ステパノのこと(患難)ステパノのことにより大きな患難が起こったが、正確な契約を持っている人は揺れない。  1)マタ12:26-30あなたの中にサタンがやぐらを建てて、家を作っている。  2)マタ12:43-45悪霊が家を作っている。  3)ヨハ8:44悪魔の子ども  4)Ⅱコリ10:4-5サタンの要塞  5)ヨハ16:11-14サタンの王国に捕えられている。  △聖書はステパノを見て「眠った」と言った。このときから働きが起こり始めた。  2.時刻表-アンティオキア  1)弟子が集まり始め　2)宣教開始  3)派遣-パウロ、ステパノが石に打たれて死んだとき、証人であったパウロが宣教師として派遣  △私たちは困難が来たとき、契約を握って神様の証拠が起こる、御座の力で旅程を行き、道しるべを建てる、この答えの中に入れば良い。  3.答え  1)主の御手が彼らとともにあったので　2)主の恵みが見えて  3)光の経済　天下が飢謹になったがアンティオキア教会だけ祝福された。これが光の経済だ。  □結論\_未来(契約)  1.私たちの力を計算せずに神様の力を握れば良い。世界宣教、レムナント運動、光の経済を回復しなければならない。  2.7・7・7(契約)味わっていれば一番最初に来る答えが正確な契約だ。  3.7・7・7で続けて3集中すれば、伝道、宣教、学業(職業)に300%の答えが来る。このとき、私たちは動くのだ。 | レムナントは「時代のターニングポイントを見る目」を持つ必要がある  □序論\_わざわい  1.原罪が何かわからなければ、なぜ救われなければならないのか分からない。創3、6、11章に陥ったのが原罪だ。サタンの誘惑を受けて神様を離れた。  それゆえ、宗教を作って、偶像崇拝して、偶像神殿も作る。  そうして、完全に6つの運命の罠にとらえられたのだ。  2.サタン-聖書で詳しく説明しているのに、人々はよく分からない。  3.背景-実際の地獄の背景が何かも分からない。救われた者は御座が背景だ。  △この三つのことが合わされば「わざわい」が続けて臨むのだ。これを大人たち、ユダヤ人、中世教会までも、大きい教会も分からなかったのだ。  □本論\_聖書にだけ話している奥義だ  1.未信者  1)ヨハ8:44私たちの父が悪魔ならば引っ張られて行くしかない。 | 2)マタ12:26-30中にサタンが家を作ってやぐらを建てておいたのだ。  3)マタ12:43-45目に見えないように、悪霊が家を作っていて、お祓いをすればより多くの悪霊が来る。  2.教会信徒-教会に通っても、まことの福音を味わえなければこのようになる。  1)使11:1-18昔のことに縛られていて、コルネリウスの家に行ったことを話した。  2)Ⅱコリ10:4-5私の考えにそのまま縛られている。  3.世の中  1)ヨハ16:11-14世の中に出て行くとサタンが王になっている。  2)Ⅱコリ4:4-5サタンが世の中の神の役割をしている。  □結論\_霊的世界  霊的状態-レムナントが霊的世界を知って祈れば、霊的状態が作られて  後-答えはその後に来る。 | 使1:3 40日-神の国のことを弟子に説明されたイエス様  金土日時代、黙想運動、3庭、重職者時代-一番重要なのは、今、答えを味わうこと  レムナント、病んでいる者-祈りで脳を生かして、力を受けなさい。  朝-3集中、7･7･7味わう平安な祈り  昼-適用、対話祈り　　夜-みことばで答え、深い祈り  □序論  1.創2:7神様がいのちの息を吹き込まれた。この力を受ける祈りだ。  2.エゼ37:1-10干からびた骨にみことばを預言、いのちの息を吹き込まれた。  3.ヨハ20:22息を吹きかけて聖霊を受けなさい。  4.使1:8ただ聖霊、力、地の果てまで証人  二つの生命線-呼吸+祈り→黙想運動(参考図書:順礼者の道)  皆さん人生に重要な質問をしなければならない。私は病気、貧しさ、伝道できない理由を質問してメッセージを握った。  □本論\_私たちの-時代を生かす見張り人  1やぐら-見張り人にはやぐらが必要  1.三位一体の神様が霊で私に臨まれることが最高の答え  瞑想運動-主人が私、結果はネフィリム(サタン、悪霊に覆われたこと)  黙想運動-主人が神様、神様の霊で私たちに臨まれてこそ生きることができる。  2.御座の祝福が私に臨むように  3.時代(私たちの過去、現在、未来)生かす神様の力の働きが臨むように  4.5力が私に臨むように  5.空中の権威を持つ支配者に勝つ力が私に臨むように  6.CVDIPあらかじめ見て、伝達して、味わえるように  7.3つの庭が教会に臨むように祈り  2旅程-世の中を生かすために行くこと  1.道-三位一体の神様が成し遂げられる三つの道を行くことができるように  2.10土台-御座の土台　　3.10奥義　　4.確信-御座の確信  5.流れ-どんな世の中も変えることができる御座の流れ  6.一生の答えを私が持って伝達できるように  7.キャンプ-今行く道は御座のキャンプ  3道しるべを所々に建てること  1.カルバリの丘-私の過去、現在、未来のすべてのわざわいをなくされる  2.オリーブ山-時代的なミッションが私の道しるべになるように  3.マルコの屋上の部屋-マルコの屋上の部屋の体験  4.アンティオキア-時代のターニングポイントが臨むように  5.使13:1-4学業、伝道、事業が300%になるように、聖霊の確実な導きを受けて始めなさい。  6.使16:6-10マケドニア-門が閉ざされる時は、まことのターニングポイントが準備されている  7.使19:21、23:11、27:24ローマ |
| △散らされた弟子たち  散らされた者たち(使11:19) | |
| 使11:19道しるべの中でアンティオキア教会、ここでいくつかのことが始まった。  1.殉教者の始まり　殉教は終わったのではなく始まりだ。  2.散らされた者たちの始まり「ステパノのことによって散らされた者が....」いよいよ散らされた者たちの始まりだ。  3.集まる者たちの始まり　それから弟子が集まり始めたのだ。  4.光の経済の始まり　そして、使徒11章28節30節に見ると、光の経済の始まり | 5.世界宣教の始まり　いよいよ世界宣教の始まりだ。  どのように可能なのか「異邦人のようにあれこれくださいと祈らないで」イエス様が言われた「神様はすべて知っておられるので、あなたがたは神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、すべてのものが加えて与えられる」神の国について40日間、説明されたのだ。やぐら、旅程、道しるべをみな説明されたのだ。この祈りをしなさい。 |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(41)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | |
| 2024年10月13日　週間祈りカード | | | |
| △区域メッセージ第41週  62の一生の答えと永遠の答え(使1:1, 3, 8) | △聖日１部  空中の権威を持つ支配者に勝つ力(エペ 2:1-10) | | △聖日２部/神殿建築献身礼拝  消えた教会と世界を生かした教会(エペ 2:11-22) |
| イエス様が与えてくださったやぐら、旅程、道しるべを祈れば一生の答えが出てきて、永遠の答えになる。  □序論\_ 300%準備が出てくる。学業、職業、産業、伝道もそのようにすれば良い。  1.100%聖霊導き  1)使13:1-4場所、こと、人、みな出てきた。  2)使16:6-10道が閉ざされた時も聖霊の導きを受けてマケドニアへ  3)使19:1-7ローマに行く前にティラノから  2.100%現場準備  1)使13:5-12暗闇が覆われたシャーマンの町で暗闇を砕く  2)使16:16-18悪霊につかれて、町中をとらえていた占い師を癒やす  3)使19:8-20ティラノで多くの不治の病の現場を見るようになった  3.100%システム  1)会堂、講堂にパウロが入ったのは、子どもたちがいるから、未来を見たこと  2)重職者-リディアからプリスカ夫婦まで、多くの重職者を立てる  3)ローマを見た  □本論  1.本質-21の人生の本質  1)カルバリの丘ですべての問題解決、オリーブ山でメッセージを与えられ、マルコの屋上の部屋で体験が起こった  2)天命、召命、使命が自然に従って出た  3)当然、必然、絶対が従って出るしかない。  4)一心、全心、持続の証人になった  5)ただ、唯一性、再創造が来るしかない。  6)24、25、永遠、すると、7)刻印、根、体質になって癒やされる  2.幸せ5つ-祈りに先にまことの感謝が出てきて傷が癒やされ、みことばの流れに従って行って私たちの霊的な状態も回復、マルコの屋上の部屋で40日間集中すると癒やしが起こり、人生の未来が見える重要な5つが出て来る  3.7タラント-レムナントと金土日時代に読書フォーラムした後に、みことばでフォーラム、義人を勉強してキリストで答えを下し、各国の文化を三つの祭りで答えを出せば良い。それからは、礼拝と祈り。そのとき、ただの成人式、唯一性の使命式、再創造の派遣式が出てくる。  4.9流れ-私たちには過去・現在・未来、左右・下・上があり、高さ・深さ・広さがあるので、流れを見れば良い。  5.20-聖書にある伝道戦略20が出て来る。  △みな合わせると62だが、私たちが受けた神様の恵みは万種類を越える。まことの答えは、目に見えない部分から来る。信仰は目に見えないが、信仰は必ず結果が出て来る。  □結論\_目に見える答えはこの神様のみことばが成就されること | □序論  1.質問  1)現実　自殺、麻薬中毒、霊的問題、精神問題がなぜたくさん生じるのか  2)宗教　シャーマン、医師が治せない病気、偶像崇拝と精神疾患者をどのようにするのか  3)国家　戦争を起こした強大国、奴隷・捕虜・属国になった弱小国、無力なクリスチャン  4)文化科学・医術・神学は発展するが、急増する霊的問題・精神疾患者・門を閉ざす教会  2.原因-なぜうまくいかないのか　1)エペ2:1霊が死んだ状態  2)エペ2:2空中の権威を持つ支配者(私の人生の主人)  3)エペ2:3生まれながら御怒りを受けるべき子  3.神様の救いの約束-キリスト　1)恵みによって-ほかのことではできないので  2)信仰によって　3)神様の賜物(救い、信仰)  □本論\_神様が与えてくださったやぐらを早く建てなさい  ※たましいが荒廃して祈りができないので、金土日時代、三つの庭を開いて神様が与えられるやぐらを早く建てなさい  1.まことの救いのやぐら-御座のやぐら、旅程、道しるべ  1)公生涯3年　捨てること、助け主聖霊を約束  2)オリーブ山40日　やぐらを変えること  3)マルコの屋上の部屋10日　体験　　4)生かされる礼拝  5)毎日宮で、家で(今日握ったみことばが現場で成就)  6)第三時の祈りの時間に見える現場　7) 24、25、永遠　持続  2.まことの証拠のやぐら-救われたため  1)エペ2:1　背きと罪の中に死んでいたあなたがたを生かし-過去の問題解決  2)エペ2:2　今、空中の権威を持つ支配者に従っていたので-現在の問題解決  3)エペ2:6　キリストとともに天上に座らせてくださった-未来の問題解決  3.まことの力のやぐら-人を生かさなければならないため  1)エペ2:5　私たちをキリストとともに生かされた  2)エペ2:7　その限りなく豊かな恵みを来るべき世々に示すため  3)エペ2:10　神様があらかじめ備えてくださり、その中で行うようにされる  ※救われた者の祝福を証拠として世界福音化  ※多民族の中にサタンのやぐら、要塞をなくして、神様のやぐらを建てて送りなさい。  □結論\_始まり  1.300%  1)専門性100%　完全に聖霊の導きを受ける時まで待ちなさい。  2)現場性100%　現場に必ず必要なことを見なさい  3)システム100%　未来に必ず必要なことを準備  2.キリストがとても重要に見る所  1)ピリポ・カイザリアで人々が何と言うのか-あなたは生ける神の御子キリストです  2)三つの庭がなくなった神殿に怒られたイエス様  3)オリーブ山のやぐらを建てなさい。  3.祈りを知っている人は祈りが幸せだ。このやぐらが建つように、人生挑戦しなさい。 | | 世界教会は門を閉ざしている。教会と牧師の責任だ。教会が門を閉ざすのに何の関心もない。  □序論\_なぜ  1.アンティオキア教会  1)世界的祝福　2)世界生かす力　3)光の経済を与えられた。  2.パウロをそちらに送って、すべての祝福を与えられた。  1)異邦人の庭　2)癒やしの庭  3)子どもたちの庭(会堂)に目を向けたパウロ  3.どんな時代を開いたのか  1)多民族時代2) RT、TCK(ほとんど捨てられた人物)時代  3)癒やし、サミット運動を起こしたパウロ  △パウロは信徒をどれくらい愛したのか14巻の書簡に出て来る。名前を1人、1人を取り上げながら常に祈った。今日の本文には、ほかの国にいる救われた者をどれだけ愛しているかが出ている。神様のアガペーの愛で神様の民が一つの家族だという愛を表現した。  △教会、神殿を置いて祈り24するチームが構成される必要がある。24祈りの奥義を悟れば、すべての病気も癒やすことができて、まことの幸せが何か見つけ出すようになる。祈り24になれば御座を動かす祝福、まことの幸せ、まことの力を見つけ出すようになる。  □本論\_どんな神殿を作る必要があるのか。その愛の心を持って  1.多民族癒やす神殿(12節) -前にはキリストの外にいて、神様の敵となり希望がまったくなかったが、今はそうではない。  1)使13:5-12、16:16-18、19:8-20この病気を癒やすことができる神殿  2)このような人々が24することができ、25力、永遠を味わうことができる神殿  3)障がい者が一生、休むことができる教会  2.多民族サミットになることができるように準備する神殿(15節) -もう新しい人になった。  1)タラント7つを見つけるようにさせなさい。  2)霊的サミットに先になって答えを受けて、技能サミット、文化サミットになるように助けなさい。  3) 300%答えを受ける者にして派遣  △外国人に話さなくても良い後見人を1人ずつ付けてあげなさい。  3.多民族を通して5000種族の弟子を訓練させる神殿-一つの御霊にあって(18節)、預言者の土台の上に建てられたことを受けた者だ。キリストが要の石となられて、私たちがその土台の上に建てられた聖なる宮になったのだ(20節)  1)使17:1 　2)使18:4 　3)使19:8未来を見通して会堂へ  △強大国の大学に来ている人材を通して5千種族に入り込むのだ。  □結論  1.崩れた教会　2.中毒者などがいっぱいになった。  3.精神疾患者でぎっしり埋まった。ここに弟子を派遣しよう。  △現地の重職者を立てて派遣しなければならない。昔に韓国が死んでいくとき、宣教師がどのようにしたのか考えてみなさい。私たちは世界を生かす光を伝えなければならない。 |